

講義名	卒業研究				
講義コード	44414	授業形態		開講期・曜日・時間	通年 木曜日 4 時限
担当教員	岡田 恵実		サンバリング・コード		

学部・学科	演習分野
全学部、全学科対象	起業・ビジネス創造

概要説明

1. 岡田ゼミで学ぶこと
今の時代、多くの起業やビジネス、プロジェクトが生まれていますが、それらの多くは、「自分ごとの課題をどう解決するのか」というところから始まっています。なぜなら、自分が感じている問題意識や願いはささいなことと思いがちですが、実はどんなこともなんらかの社会を代表しているからです。つまり、自分の問題意識はほかの誰かも必ず同じ問題意識を持っています。
ですから、自分自身が抱えている課題や願い、周りの身近な人が抱えている課題を深く理解したり共感することから、その解決策としてのアイデアが生まれ、ビジネスやプロジェクトにつながっていくのです。
このゼミでは、自分自身の問題意識や願いを中心とした「自分ごと」からはじまる起業やビジネス、プロジェクトについて一緒に学んでいきます。
具体的には、起業家や支援者との対話、起業支援を行う場への訪問、イベント等への関与など、外との接点を多く作っていく予定です。
最終的には、自分ごとのプロジェクトをつくり、一歩を踏み出すこと（起業したい人の場合は結果これが起業になるかもしれませんが）を目指していければと考えています。

2. 岡田ゼミについて
(1) 岡田ゼミ＝だえみゼミ
このゼミの担当教員である岡田は、年齢や立場を問わず多くの人から「だえみ（岡田恵実の後ろ三文字）」と呼ばれています。したがって、通称だえみゼミ、です。この呼び名のとおり、敬意や配慮は当然必要ですが、垣根のないフラットな運営をしていきたいと思っています。
(2) ゼミのモットー：「三素」
「素いことを素しく素に」の意味です（私の恩師のゼミのモットーでもあります）。
「三素」を実現するためには、そのための努力や行動の積み重ねが不可欠であり、すぐに素にはなりません、結果として「三素」なゼミだとみなさんが思える活動を一緒につくっていききたいと思っています。
(3) ゼミで大切にしたいこと
・「わたし」を主語に
・学び合い
・タビコ コロナナメ（横（同期）のつながりはもちろんのこと、縦（先輩後輩）、そして斜め（ゼミ以外の人たち）との交流を積極的にしていきます）
・ゼミ生による主体的運営

主な卒業論文のタイトル

卒業論文については、学生と一緒に考えていきます。

<卒業論文の例>
「地産地消と淡路島観光との関係」
「TEDが関係者に及ぼす影響～TEDxKobeに関わる人々からのインタビューより～」
「殺処分0を目指しながら黒字運営ができる動物保護事業施設づくりの提案」
「ジェンダーレスファッションの現在地と未来への可能性」
「ベストセラーで愛される絵本に関する一考察」
「墨田の中小企業から何を学んだのか？～だえみゼミ私的夏合宿inすみだでの中小企業経営者へのインタビューから～」

教員よりの要望

ゼミは、学生生活において一つの大切な居場所だと私は考えています。
自分自身の関心が何なのかに気づき、それを探究する場所。自分を高め、成長する場所。ゼミを起点に行動し、社会への接点を数多く作り、今後の人生への架け橋となる場所。そして何より、最高の仲間たちがいる場所。
実は、その刺激と心地よさの両方ある環境をつくるのは、その場にいる学生のみなさんたちです。
もちろん、そのきっかけは私がつくるとも多いです。でもそれを自分で感じて動く、みんなで心を開いて対話や議論する、応援あう…それはみなさんしかできません。その結果が大切な居場所たるゼミ、となりますし、みなさんひとりひとりが「自分自身の足で社会に踏み出せる」感覚を持つことになります。
ゼミを上記のような場にしたい、そのためにゼミ生同士で協力しながら自ら主体的に活動しようという気持ちのある方に来ていただきたいと思います。一緒に大切な居場所を創っていきましょう。

選考方法

個別ガイダンス期間中に、必ず研究室を訪問し、教員とコミュニケーションをとる機会を作ってください。
面接では、自己紹介のほか、学生生活でやりたいことやゼミで学びたいことなどについて話を聞きますので、事前に考えてきてください。
提出書類と面接内容を主に選考します。

評価方法

全出席を前提とします。無断欠席、遅刻は厳禁です。
ゼミ（活動を含む）への主体的参加、課題等の提出物やプレゼンテーション等を総合的に評価します。

教員英字氏名	研究室
Eni OKADA	研究棟 I 308研究室

最終学歴

早稲田大学大学院商学研究科専門職学位課程ビジネス専攻

学位

経営管理修士（専門職）

主な研究活動・社会活動・研究業績

【著書】
「ゲーム・チェンジャーの競争戦略－ルール、相手、土俵を変える－」（共著（第5章担当）、2015年、日本経済新聞出版社）

【論文】
「大企業取引に成功するものづくり系中小企業に関する考察～変局点における経営者の意思決定を中心に～」（2009年度早稲田大学大学院商学研究科 専門職学位論文）

【研究活動】
今の関心テーマは以下です。
「新しいビジネスや事業活動の立ち上げと人のマインドとの関連性」
「中小企業経営者の外部活動が組織戦略や組織行動に及ぼす影響」

趣味・特技

・ランニング（フルマラソンに年数回参加しています。ウルトラマラソンにも復帰したいと思っています）
・スイーツ巡り（お菓子を年364日食べています。全国の銘菓にはかなり詳しいです）
・ネコと遊ぶ（飼っているネコのカレンダーを毎年作成し、全国の希望者に配布しています）
・スナックのママ的活動（実際にスナックを経営しているわけではありません。ゆるゆると人と語り合う活動やその場づくりが好きでやっています）

所属

商学部経営学科

所属学会

日本マーケティング学会
日本ベンチャー学会
日本中小企業学会
日本経営診断学会

専門分野

起業、起業機運醸成
中小企業の経営者や経営幹部の外部活動が組織に及ぼす影響

担当科目

起業家論、起業・事業承継論、ビジネスプラン論、経営学入門、中小企業論、基礎能力（新聞を読む）、専門基礎演習

備考

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に20年超勤務してきました。
その中で、起業に関心を持つ人々を増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。
経済産業大臣認定・中小企業診断士。